



市民の誓い 私たちは水を生かし 緑を広げ 安全に努め 心を育て 助け合います



市マスコットキャラクター おがっきい&おもひちゃん

第2回市議会定例会

補正予算など 24議案を審議

第2回市議会定例会が、6月3日に開会されました。

この日、会期を6月14日までの12日間と決めた後、人事案件5件を先議。農業委員会委員に岩井豊太郎氏(再任)、傍島勝美氏(新任)、教育委員会委員に堀哲也氏(再任)をそれぞれ任命、監査委員に田邊雅範氏(再任)、固定資産評価審査委員会委員に可児公明氏(新任)、一之瀬財産区管理委員に三輪一之氏(新任)を、それぞれ選任することに同意しました。

その後、令和元年度一般会計補正予算など19議案が一括上程され、小川市長が提案理由を説明しました。

次に、「後期高齢者医療費自己負担の現状維持に努める意見書を求める請願」ほか1件が上程され、担当委員会に付託されました。

各議案は、最終日の14日に行われる本会議で採決される予定です。議決された議案は、本紙7月1日号でお知らせします。

新時代の男女共同参画「令和ハートリンクフェス」を開催



今年度の男女共同参画週間ポスター

市と大垣市男女共同参画推進連絡協議会は、昭和から平成までの取り組みや活動を振り返り、これからの男女共同参画を考える「令和ハートリンクフェス 新時代の男女共同参画～男女共同参画週間に寄せて～」を開催します。

- とき/6月22日(土)～7月7日(日) ※6月25日と7月2日は休館
●ところ/男女共同参画センター「ハートリンクおおがき」(サイトピアセンター学習館1階)ほか
●内容/昭和24年度から令和元年度までの啓発ポスターなどの展示、男女共同参画クイズ(参加者に粗品進呈)、市立図書館と連携した図書展示やDVDの上映など
●その他/6月22・23日の午前11時～午後4時まで、手作り品や菓子の販売、岐阜県「ぎふ女のすぐれもの」認定のサービス紹介や物品販売などもあり。また23日の午後1時30分からは講演会を開催(詳細は本紙6月1日号8面に記事掲載)
●問合せ/男女共同参画推進室(☎47-8549)へ

新市庁舎建設現場「親子見学会」参加者募集!

市の新たな防災拠点となる新市庁舎は、令和2年1月の開庁を予定しており、現在工事を進めています。そこで、その建設現場の見学と、新市庁舎に取り入れられた免震技術の体験会を次のとおり開催します。夏休みの機会を利用して、貴重な体験のできるこの催しに、ぜひご参加ください。



現在の内装工事の様子

- ◆対象/市内在住の小中学生とその保護者
◆とき/①7月21日(日) 午後2時～4時 ②9月1日(日) 午前10時～正午
◆ところ/新市庁舎建設現場(現庁舎北側)
◆定員/各回30人程度(抽選)
◆締切/①6月25日 ②7月25日
◆申込/市HPの「申込み・アンケート」に入力または、はがきに「夏休み新庁舎親子見学会申込」と明記し、子どもと保護者の氏名・ふりがな・性別、学校名、学年、住所、電話番号、メールアドレス、参加希望日を記入のうえ、庁舎建設推進室(〒503-8601 丸の内2-29、☎47-7439)へ郵送(消印有効)



申込フォーム



新市庁舎の完成予想図

6月15日号 主な内容

- ▶介護保険食費・居住費の減額認定、参議院議員通常選挙など...2～3P
▶学校支援ボランティアの募集、子育てのお知らせなど...4～5P
▶講座や催しのお知らせ...6～7P
▶ダンボールコンポストで生ごみダイエット、市民伝言板など...8～9P
▶健康ガイド...10～11P
▶経済戦略講演会、市消防操法大会、おおがきマラソン2019...12P

この勢いで、さらに元気なまちづくりを進めてまいりたいと思います。
大垣まつり行列では新たに、白丁姿の岐阜協立大学の皆さんがみこしを担ぎ、大垣市青年のつどい協議会と一緒に、力強く練り歩いてくれました。
こうした効果もあり、試乗18万人、本乗19万人、合わせて37万人と過去最高の人出となりました。
大垣まつり行列では新たに、白丁姿の岐阜協立大学の皆さんがみこしを担ぎ、大垣市青年のつどい協議会と一緒に、力強く練り歩いてくれました。
この祭りをPRするために、3月9日にはJR東京駅で、4月13日にはJR名古屋駅で、神楽軸の人形神楽やからくり芸を披露してきました。また大垣駅通りでは、日本国際ポスター美術館の皆さんにより、本濃紙にシルクスクリーン印刷をした18点の優秀作品が、特製のオブジェ「あかりポスター」を使って展示されましたし、アーケードにはポスターフラッグも掲げられ、機運を盛り上げてもらいました。



「令和」の文字書きを披露した菅原軸のからくり

令和初の大垣まつり



市長のかげやきメール
大垣市長 小川 敏

平成28年12月に、ユネスコ無形文化遺産に登録された大垣まつり。令和初の今年には、先づれを含めて4日間とも素晴らしい好天に恵まれ、多くの観光客で賑わいました。
城下町大垣の総氏神であった八幡神社が再建されたのを祝いするため、10か町が軸を曳き回したのが始まりとされ、(慶安元年(1648年))から行われて、今年で371年目となります。三代大垣藩主の戸田氏西公が、神楽軸・大黒軸・恵比須軸の3両を下賜され、現在の13両軸となったと言われています。